

## オーディオ再生上のやっかいな問題—その 6

### —まとめ—

その 1 からその 5 まで 5 回にわたって、以下の各テーマについて知り得る範囲で関連資料を付しつつ記載してきました。

オーディオ再生上のやっかいな問題—その 1

—イコライザーカーブと位相—

オーディオ再生上のやっかいな問題—その 2

—デジタル音源の位相—

オーディオ再生上のやっかいな問題—その 3

—イコライザーカーブとその位相—

オーディオ再生上のやっかいな問題—その 4

—カートリッジの L/R の位相—

オーディオ再生上のやっかいな問題—その 5

—カートリッジのアジマスと位相—

オーディオを始めて以来、長年にわたって、鳴らしやすい盤とそうでない盤があること、アナログマスターからの CD が期待通りに再生できないことなどの疑問がありましたが、その 1 とその 2 で述べたとおり、一応納得のいくレベルで解決できています。

一方、その 3 以降は、依然として闇の中です。

イコライザー回路の設計による位相のずれの問題、カートリッジの L/R の位相差やアジマスの影響で L/R の位相差などが悩ましい問題です。

最近のヨーロッパのハイエンドアームでは、アジマスの微調整までできるようになっており、アナログのハイエンドユーザーはレベルの高い再生を享受していると思われます。

日本のオーディオ業界では、イコライザー特性でさえ、タブー視していることは残念でなりません。

問題を直視し、正面から解決に取り組む努力が望まれます。

以上